

令和4年度第2回

白石町新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金効果検証会議 議事録

- 開催日時：令和5年3月23日（木）10：00～11：00
- 開催場所：白石町役場3階 職員控室
- 出席委員：吉村委員、馬渡委員、西山委員、副島委員、伊東委員、江口委員、百武会長
- 事務局：坂本企画財政課長、山下企画財政課長補佐、山口総合戦略課長、筒井総合戦略課長補佐、辻白石創生推進係長、陣内白石創生推進係主事、福田白石創生推進係臨時

《 議 事 録 》

1. 開会

2. 会長あいさつ

○会長

みなさんおはようございます。私の方から一言、ご挨拶をさせていただきたいと思っております。本日、皆様方には年度末の大変お忙しい中に、令和4年度 第2回となります、新型コロナ交付金関係の効果検証会議ということで開催しておりますが、本当にご出席いただきありがとうございます。みなさんご案内のように、新型コロナにつきましては、年末にピークとなりました、第8波がだんだん収束というか、落ち着いてまいりまして、最近では感染者数も随分、減少をいたしている状況であります。そして5月8日からは5類へ変更ということになります。また、3月18日からはマスクの着用も個人の自主的な判断に委ねるということになります。ただ、町の職員については、引き続きマスク着用を継続するというにいたしております。また、昨年度から、食料品をはじめ物価が上昇しておりますけども、さらに4月から値上げされる品目も多いようございます。町の方でも現在、国における経済対策等の動向を注視しているところでございます。国の方も新たに経済対策に取り組まれるということになっておりますけども、必要に応じて対応してまいりたいと考えております。本日は、前回行っていたいただきました令和2年度事業の検証結果の確認、令和3年度の臨時交付金事業の内容説明等を予定しております。どうか、委員の皆様のご意見の忌憚のないご意見をいただきますようお願いをいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。本日、どうぞよろしくお願いたします。

3. 協議事項

○総合戦略課長

ありがとうございました。ここからが次第の3です。協議事項の方に入ります。ここからは百武会長に会議の議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(1) 令和2年度実施事業の効果検証結果について

○会長

それでは、これから進行の方を私のほうで務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。早速協議事項の(1)です。令和2年度実施事業の効果検証結果について、に入ります。事務局より説明をお願いします。

○白石創生推進係長

はい。白石創生推進係の辻です。よろしくお願いいたします。前回、皆様方から効果検証をいただきました。その結果をご説明いたします。令和2年度につきましては25事業ございました。まず各事業の評価ということで、全てA, B, Cのどれか一つに丸を付けていただくということで、やっけていただきました。もう一つが総合的な評価ということで、これもA, B, Cのどれか一つに丸を付けていただく、ということで評価をしていただいています。それと合わせまして自由意見ということで、いろいろな角度から意見をいただいたところ。結果につきましてはお手元に配布しているとおりでございます。ほとんどがAかBという評価をいただいております。また、総合的な評価につきましてもAやBということで評価をいただいております。前回この会議でご意見いただきましたように、評価をするにあたっての数値的なものがないので、評価するのが難しいというご意見がございまして、令和3年度事業までが、実は各事業の数値目標というものがないので、今回の令和3年度事業までが、このような形での評価をお願いするといったことになっております。この形でHPの方に公表をしたいと思っております。以上、簡単ですが説明を終わります。

○会長

はい、説明終わりましたけれども先ほど言われたように、この令和2年度効果検証結果についてはHPにて公表をしたいという提案でございました。合わせて議事録も公表されるんですね。

○白石創生推進係長

はい、そうです。

○会長

お手元の方に令和2年度分、第1回目のこの会議の議事録も配布されておりますのでこの議事録も合わせてHPで公表をしたいということでございます。それではただいまの説明についてご質問等ございませんでしょうか。・・・ご質問等無いようですので、ただいまの効果検証結果と議事録については今月の末にHPで公表をしたいということでの提案ですがよろしいですか。・・・はい、ありがとうございます。それでは事務局

そのようにお願いします。それでは次に（２）です。令和３年度実施事業についてに入ります。令和３年度につきましては繰越も合わせて１１事業を行っております。まず、事務局の方から概要説明をお願いします。数が１１項目と多くなっておりますので、区切っていきたいと思います。初めに１～６について説明をお願いします。

○白石創生推進係長

はい、先ほど少し話しましたとおり、令和３年度につきましては１１事業あります。臨時交付金を活用した額といたしましては、総額で約２億２７００万円となっております。それでは４ページ目からご説明をさせていただきます。

①白石町事業者支援金からとなります。まず、事業概要につきましては、コロナ感染拡大の影響を受けまして、売上が大きく減少している商工業等事業所のコロナ対策及び事業継続を支援するため、応援金を支給しています。対象事業者としまして、白石町内に、事業所、店舗等がある。それから、町内で商工業を営む中小企業・小規模事業者である。また、令和元年又は令和２年の売上額が１００万円以上で、令和２年８月から令和３年３月までのいずれかの月の売上額が、前年同月比で２０％以上減少している。最後に令和２年８月１日現在で事業実績があり、今後も事業継続する意思がある。という条件となっております。参考までに、このような似た事業を昨年度も実施してまして、昨年度の②ふるさと飲食店応援事業、それから④白石町事業継続応援金、それから⑤令和２年度白石町事業者支援金、最後に出てきます、令和３年度事業、⑩白石町事業者応援金ということになっています。令和２年度、この事業につきましては、令和２年度の年度末、３月から開始をしておりましたので、令和２年度と令和３年度と、会計が分かれる関係上、ここに書いております令和２年の⑤事業、令和２年度白石町事業者支援金と同じ事業ではありますが、会計が分かれている関係上２事業という形になっています。事業実績ですが、２０２の事業所に対しまして１５万円となっております。ちなみに、先ほどの令和２年度の２５番目の事業が２００事業所でありましたので、合計で４０２の事業所へ支援を行っております。事業評価としまして、町内商工業等事業所の事業継続に寄与できております。

○白石創生推進係主事

白石創生推進係の陣内と申します。それでは②防災費については私の方から説明をさせていただきます。まず事業概要についてです。こちらは災害時の備品購入ということで指定避難所におきまして、コロナウイルス感染拡大防止対策として、避難者のプライバシー保護のための簡易テントを購入しております。また、停電時も安定して避難所の換気対策を行えるように、サーキュレーター及び発電機等の整備も行った所です。類似事業といたしましては、令和２年度に実施いたしました⑭防災費ということになります。事業実績ですけれども、簡易テント１００台で計９７万９千円、発電機１０台・コードリール２０台で計１６７万９００円、防災マット２００枚で計７３万７千円、サーキュレーター４０台で計５９万４千円となっております、こちら事業費全体では、３９８

万900円となっております。参考までにですが、保管場所につきましては、総合センター、ゆうあい館、ふれあい郷、有明公民館、道の駅しろいしの方に保管をしているところです。事業評価としては、こちら避難所における感染拡大を防止いたしまして、安全な指定避難所を開設することで、地域住民の安全安心が確保できたというところとなっております。以上です。

○白石創生推進係長

続きまして③「しろいし応援団」生活サポート事業です。事業概要です。新型コロナウイルス感染の拡大に伴う、町民の生活支援と地元経済の活性化を図っています。ここも類似事業といたしまして、令和2年度①プレミアム商品券2020発行事業を行っています。事業実績ですが、まず給付の対象者といたしましては令和3年6月1日現在で白石町の住民基本台帳に、登録されている方を対象としています。給付額が1人につき3千円の商品券を郵送しています。商品券利用期間、取扱事業者数はご覧のとおりとなっております。右側の方に行きまして発行総額が6658万2千円これを3千円で割りますと、2万2194人分となります。この2万2194人分が実際に商品券を受け取られた方ということになります。これに対しまして実際に使用、換金いただいた額が6489万8千円、未換金額が168万4千円ということで換金率が97.47%となっております。事業費が合計で7204万1117円となっております。事業評価としましてコロナにより落ち込んだ町民の生活を支援し、地域経済の回復に寄与できております。以上です。

○白石創生推進係主事

それでは次に④新生児子育て応援特別給付金についてです。事業概要といたしまして、こちらでも新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中に、子どもを産み育てる家庭を応援するため、新生児1人につき10万円の給付を行っております。対象は記載のとおり令和3年4月1日から令和4年3月31日までに生まれた白石町に住民基本台帳の記録があるお子さんとなっております。給付対象者はそのお父様かお母さま、もしくは住民基本台帳に登録されている同一の世帯の方となっております。給付額は1人につき10万円となっております、こちら事業実績ですけれども、120人に給付を行っております、事業全体は1200万円となっております。事業評価ですけれども、子育て世帯の経済的負担の軽減に寄与することができたと思っております。以上です。

○白石創生推進係長

続きまして⑤白石町農業収入保険加入促進事業です。事業概要は、コロナ感染拡大の影響で、経営の悪化している農業者に対しまして、農業経営安定化を図るため、令和4年産に向けた収入保険の加入者への保険料の一部を助成し、加入促進を図っております。この事業の対象者ですが、白石町内に住所を有する農業者及び町内に拠点を置く農業法人等、それから令和4年産に係る収入保険に加入する農業者となっております。補足にな

りますが、収入保険は青色申告を行っておられる農業者、個人、法人の農業者が対象となっています。補助率につきまして令和3年、令和4年産分の収入保険個人負担保険料の8割以内で、補助上限が10万円ということになっています。事業実績としまして、補助上限の10万円助成者が57農業者、それからそれ以外の8割助成対象者が92農業者となっています。事業費といたしまして、988万8千円となっています。事業評価といたしまして、農業者の負担軽減を図ることができたとともに、収入保険制度への加入が促進されました。ちなみに補足になりますが、前年の収入保険加入者が75農業者となっていましたので、今回149農業者ということで、大幅に加入者が増えております。以上です。

○白石創生推進係主事

それでは6番目、中央公民館費(サーモグラフィカメラ購入)についてご説明いたします。こちら感染症拡大防止といたしまして、簡易移動式の消毒液自動噴射機能がついている、サーモグラフィを設置することで、施設利用者の安全確保につとめたところ です。実績といたしましては、サーモグラフィ10台、計147万4千円となっております。参考までに、こちらの設置場所ですけれども、まず白石公民館、福富公民館、有明公民館の三か所に1台ずつと役場大会議室に1台が固定となっております。残りの6台につきましては、屋内の場合に限りますけれども、イベントや会議などに貸し出しを行っているところです。事業評価といたしましては、感染症予防といたしまして、施設利用者の対策を図ることができたと考えております。以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。ただいま1番から6番まで説明がありました。これについて何かご質問等ないでしょうか。・・・なんでも結構ですのでお願いいたします。

○委員

些細なことですけど、サーモグラフィカメラの購入の件で10台のうち公民館に3台と役場に1台とイベントなどへの貸出ということで6台とあったんですけど、これは住民の方とか、地域の集まりとか、そういったときに貸出の要請があれば随時貸出をされているということでしょうか。

○白石創生推進係主事

担当課に確認したところ、実績としてはあくまで、他の課か、役場の税務課や企画財政課などが会議をする際に使われているというところだったんですけど、今のところ外部の方に貸してある、という実績は特段あっておりません。

○委員

申し出があれば、外部の方も借りることができるということですかね。

○白石創生推進係主事

貸出簿を管理されていたので...

○総合戦略課長

今のところ、事業として外への貸出というのは想定していないというところなんですよ

ね。それから今後フェーズが、こういった形になってきてというところもありますよね。今のところ庁舎内の貸出とか、町が主催するイベントへの貸出というような形をとっております。

○会長

他にございませんか。

○委員

新生児子育て応援特別給付金になるんですけど、質問とかではないのですが、新生児を産んでいただけるのはとてもありがたいと思うんですけど、コロナの時にたぶん困っていたのは小中学生の保護者さんかなと、給食が無くて、お昼を作らなきゃいけない、結構お昼代とかもかかってきたんじゃないかなと思うんですよね。給食があったら給食費、給食費は返ってきたんですかね。

○白石創生推進係長

初年度はそうですね。

○委員

返ってきましたよね。でも長期休業で給食が無くて、お昼ご飯の買い出しとかもしなきゃいけない、となってくると、そっちの方にもちょっと応援があったら助かったんじゃないかなと、新生児よりそっちの方がコロナ禍でかかった額というのは増えているんじゃないかと思うので、そっちにもあったらよかったなと、ちょっと思いました。

○会長

これについて何か事務局からありますか。

○総合戦略課長補佐

はい、貴重なご意見をいただいたと思っております。臨時交付金が今のところ、令和4年度で終わりなんですけど、今後そういった類似の交付金があった場合はご意見を参考にさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

○総合戦略課長

特に今回、子育て世帯の方というのは、そういった所で非常に負担になっておられるとかで、各世帯でいろいろ負担になられる部分というのはあるんですね。そういった意味で幅広く、負担軽減に寄与するためということでは、一応、商品券ということで、そういった部分のところはいいのかなというところもあってですね。そこは公平性を保つために、商品券というような給付を、これは商工会さんの方にもチェックをいただいで話だったんですけど、させていただいておりますし、後、子育て家庭にも少し給食費の負担であるとか、先ほど言われた部分ですとか、今後もそういったところを念頭に置きながら制度設定をしていきます。ありがとうございます。

○会長

他にございませんか。・・・それでは一旦先に進ませていただきます。次に7番から11番に入ります。説明をお願いします。

○白石創生推進係長

⑦白石町特産物直売所運営支援金です。事業概要はコロナ感染症拡大の影響を受け、特に2つの特産物直売所の売上が大幅に減少し運営が厳しい状況となっております。今後においても地域活性化のための事業継続と、直売所の健全な経営により出荷者の所得の安定を図ることを目的に、支援金を支給しています。対象直売所としまして、しろいし特産物直売所と菜海ありあけの2つの直売所を対象としています。支援金額としまして、一律200万円を支給となっております。事業費として、400万円です。事業評価としまして、特産物直売所の円滑な事業継続に寄与できております。

それでは、⑧白石中央公園管理費です。この事業概要としましては、コロナ感染症拡大防止対策として、中央公園と総合運動場のトイレや手洗い等の自動水洗化への改修を行っています。類似事業としまして、この後出てきます、⑩白石町総合センター管理費も同じような事業を行っています。事業実績ですが、トイレの洋式化と自動洗浄、小便器の自動洗浄、蛇口を自動水栓に切り替え、あるいは便座クリーナーの設置等を行っています。等ということで、ベビーチェアの設置なども一部おこなっております。ここについては改修を行った写真を添付しています。(トイレ改修写真投影) 実際トイレがどう変わったのかというのを、ご参考程度に前の画面の方で見いただきますと、前のトイレがご覧のような写真となっていたのが、ペンキで塗ってあるような形になっています。ペンキを塗ったのは、この事業ではなくまた別の予算でおこなっております。和式も一部残しておりますが、センサーで水が流れるようにはしてあります。事業費が2009万4800円となっております。事業評価としまして、施設利用者の感染予防対策が図られています。

続きまして⑨中学校施設整備費です。事業概要は中学校再編に向けまして、生徒たちのよりよい教育環境および新型コロナウイルス感染症に対応した学習環境を整えるため、白石中学校の特別教室にエアコンを設置しています。事業実績としまして、白石中学校の特別教室にエアコン設置ということで、新設が8か所、理科室をはじめ、ご覧の特別教室にエアコンを設置しています。それから更新として3か所のエアコンを更新してあります。もう1つがエアコンの増設に伴って、既設のキュービクル式高圧受電設備の容量が不足するため、大容量に更新をしています。事業費としまして、2つ合わせまして5875万7600円となっております。事業評価としまして、生徒の体調管理や集中力向上に寄与し、よりよい教育環境を整えることができました。また、密を避けた分散授業等、コロナ感染症に対応した学習環境を整えることができました。

続きまして⑩白石町総合センター管理費です。ここに付きましても、コロナ感染症防止対策としまして、総合センターの和式トイレを洋式化に改修をいたしております。それと、手洗い水栓と男子小便器の水栓を非接触式の自動水栓に改修を行っています。事業実績ですが、和式トイレの洋式化に切り替えた分が14基、男子小便器の自動水栓を12本、手洗いの自動水栓への切り替えが15本となっております。事業費としまして、781万7700円となっております。事業評価として、施設利用者の感染予防対策が図られました。

最後の⑩白石町事業者応援金です。事業概要はコロナ感染拡大の影響を受けまして、売上が大きく減少している町内の中小企業・個人事業主の事業継続の後押しとなるよう応援金を支給しています。対象事業者数ですが、見込みとして350事業者、交付額は1事業者当たり一律8万円、交付要件としまして、以下の要件を満たすものとなっています。1つ目が町内に事業所を有する中小事業者及び個人事業主、2つ目が、第3次佐賀型中小事業者応援金の交付を受けていることとなっています。ここで、第3次佐賀型中小事業者応援金の内容を申し上げますと、令和3年7月から令和3年10月までのいずれかの月において、令和2年又は令和元年の同月と比較して20%以上減少している場合に、法人20万円、個人15万円を支援する県の事業となっています。事業実績として、199事業所に一律の8万円の支援となっています。事業費が1592万円。事業評価として、中小企業、個人事業主の事業継続の後押しに寄与できております。以上となります。

○会長

ただいま7番から11番までの説明がございました。それについてご質問等ございませんでしょうか。

○委員

前にあった1番と11番の違いが、ちょっとよく分からないのですが、①白石町事業者支援金と⑩白石町事業者応援金のところですか。

○会長

①番と⑩番の違いは、ということです。

○総合戦略課長補佐

基本的に同様の事業となっておりますが、事業実績のところは期間というものがございますけど、①番のところは令和3年4月から令和3年7月の実績を対象。⑩番につきましては令和3年12月から令和4年3月の実績を対象にしています。単価につきましても15万円と8万円と差がございますけど、ただ、単価の算定基礎となる根拠といたしましては、①番については、第2次佐賀型中小事業者応援金なのですが、⑩番については、第3次佐賀型中小事業者応援金の個人事業費の単価を参考に設定しております。①番については、そのまま個人事業主の単価と同額の単価を設定しておりますが、⑩番につきましては、予算の都合もございまして、個人事業主の単価15万円の1/2相当額ということで、実施をさせていただいております。以上です。

○委員

わかりました。ありがとうございます。

○会長

他にございませんか。

○委員

⑦白石町特産物直売所運営交付金の選定というのは、2ヵ所というのは、もともと白石町

の主になっていた直売所の方から選ばれているという考え方でよろしいでしょうか。

○総合戦略課長補佐

直売所の中に、白石町特産物直売所、菜海ありあけ、道の駅しろいし、の方もはっておりますが、事業概要にもありますように、売上が大幅に減少し、運営が厳しい状況となっている、その3か所のうち、この2カ所はこういった状況になっているということで、この2つの直売所に対して、一律200万円、これは国の持続化給付金の法人の単価に設定、同様に設定させていただきまして、営業を継続してもらう為の支援ということで、させていただいております。以上です。

○会長

他にございませんか。

○委員

質問等ではございませんけれども、今日あげられた全ての事業の中で、商工会の方で関わらせていただいた事業の分が、①番と③番と⑪番の方で、事業者の方へのお礼、並びに住民私生活の支援について関わらせていただき、事業者の方からは、「非常にありがたい」という声を沢山受けておりました。また、商品券の換金等につきましても、事業者の方から「こういった給付金があって今、我々の商品にも貢献できた。」という声を聞いておりますので報告をさせていただきます。

○会長

はい、ありがとうございました。

○委員

これらの事業と直接は関係無いんですけれども、コロナの影響が始まって、令和3年度、令和2年3月、国の指導もあって生活費が困窮されている世帯の貸付の窓口をしてきました。昨年度の9月でその受付が終わったんですけども、町内の方に約1億2千万円交付しております。多いところでは1世帯あたり、200万円超で、どうしても、この資金については、仕事がなくなったりとか、コロナの影響で仕事自体が時短になったりとか、フリーランスの方が直接影響を受けて、仕事がなくなってしまったとか、そういった方々への、早急な貸付ということで、保証人無しの利息無しで審査をして貸付を早急にするという形をとったんですけれども、現在、1月から返済が始まっています。その中でも、非課税世帯では免除になったりとかもあるんですけど、それにも該当されない方に対しては、支払いがこれから10年くらい続かれていく形となってきます。そういったところも、家の方でも、アウトリーチで、訪問をしたり、連絡をとったりして、支援できるところは支援しています。あと、その中の方々でも、明日の食料に困られている方も中にはいらっしゃるって、そういった方には食糧支援もしていきながら、生活自立支援センターの方と協力しながら、食堂であったりとか、家計を見直したりとか、支援をさせていただいております。そういった方々も町内にはたくさん居られるということをお伝えさせていただきます。

○総合戦略課係長

ちなみに何世帯とか分かりますか。

○委員

資料を今日持ってきていないので、戻ったらすぐわかります。

○会長

委員さんからの意見について、今後も、役場の方や社協の方で連携しながら、なんとか対策を考えていかないといけないかなと思いますね。

○委員

私たちは見放さないようにしながらも、連絡とりながらより良い生活を過ごしていただけるような形でいろいろ考えていこうかなと思っているんですけど、中々、私たちだけでは手が回らないので、そういったところは、また業者の方にもご相談をさせていただくこともあるかもわからないですけど。

○総合戦略課長

国の方でも、非課税世帯に関しては支援策等、今までもあってきたし、これからもというような方針がされているんですよ。この返済が始まる上で、非課税世帯というのは、少し減免とかになってくるんですか。

○委員

この資金を借りられるのが、世帯主だけではなくて、他の家族の方でも申請ができる。なので、世帯主が非課税か、もしくは世帯主と借受人が非課税世帯であれば、一応免除になります。ただ、資金が緊急小口、総合、総合の延長と再貸付と4種類あって、それぞれが年度を分けて、支払いが始まるので、その度に非課税なのかどうかまた、変わってくるという感じですよ。

○会長

ありがとうございました。他にございませんか。・・・それでは他に無いようでございますので、(2)については、以上で終わらせたいと思います。この後、また疑問点が出てきた場合は、後でも結構ですので、事務局の方に申し出ていただければと思います。それでは、続きまして、協議事項(3)です。令和3年度実施事業の効果検証シートについてに入ります。事務局より説明をお願いします。

○総合戦略課係長

令和3年度の効果検証シートということで、お手元に1枚裏表紙でお配りをしております。前回同様、事業ごとの評価と総合的な評価ということで評価の方をお願いしたいと思っております。まず事業ごとの評価につきましては、前回同様、A,B,Cのどれか1つに○をつけていただきたいと思っております。次に、総合的な評価につきましても、A,B,Cのいずれかに○をつけていただきたいと思っております。それから自由意見としまして、コロナ対策について、いろんな意見をいただければ、と思っております。先ほど、挨拶の時でもありましたが、追加の経済対策等が行われる見込みでもありますので、そういった事を含めまして、ご提案でも結構ですので、ご意見いただければと思っております。提出期限ですけれども、紙の方に

は4月28日、金曜日までにご提出ください、ということで書いていたんですけれども、よろしければ4月14日、金曜日までをお願いをしたいと思います。4月14日が金曜日となっています。3週間程度でよろしく願いいたします。説明は以上となります。

○会長

効果検証シートの取り扱いについて説明がありました。これについて何か質問等ございませんでしょうか。・・・無いようでございますので、今説明がございましたように、この効果検証シートについては、4月14日、金曜日までに、事務局まで提出ということでございます。お忙しい中よろしく願いしたいと思います。その、提出があった後の取扱いについて説明をお願いします。

○総合戦略課係長

皆様方から、効果検証シートをご提出いただいた後、また、前回と同じように取りまとめをいたしまして、一旦、郵送で結果の方を報告させていただきたいと思っております。その内容でよろしければ4月か5月中に令和3年度の効果検証の結果をHPで公表をさせていただきたいと思っております。以上です。

○会長

皆様から14日までに提出いただいた分については事務局の方で集計して、再度、皆様方に結果を郵送でお知らせして、それについてまた、ご意見等求めた後に、取りまとめて4月か5月HPの方で公表をしたい、という提案でございます。今の事について何かご質問等ございますでしょうか。・・・それでは他にご意見等無いようでございますので、以上で(3)協議事項については終わりたいと思っております。後の進行を事務局へボタンタッチします。

○総合戦略課長

ありがとうございました。それでは、その他の項に入らせていただきます。前回の会議録をお配りしていますので、これは後もってご確認いただければと思います。会議の結果につきましては、HPの方で先ほどから申しておりますように公表することとなっております。国の方より、実施状況と効果検証結果については、なるべく早めに公表するよう求められておりますので、これについては今月末までに公表したいと思っております。一方、令和3年度分は、4月中旬に皆様方からご提出いただく14日までにということになります。こちらについても5月頃までには公表したいと思っております。これは皆様方の方に一旦、了解を頂いたうえで公表したいと思っております。ちょっと先の話になりますけれども、次回の第3回会議ですけれども、令和4年度事業の、効果検証ということになります。一部繰越がありますので、全事業の完了後に、年度で言いますと後半になるかと思っておりますけれども、また開催したいと思っております。これについてはまた改めて通知を出させていただきます。よろしく申し上げます。こちらの方からは以上でございます。皆様方から、全体的なところでも結構でございますけれども、何かございましたら、よろしく願いいたします。

○会長

冒頭にお話しましたように、議事録の方も合わせてHPで公表ということでしたので、前

回分の議事録は修正等があれば、早めに事務局まで教えていただきたいと思います。今月いっぱいには公表という予定になっておりますので、お願いしたいと思います。

5. 閉会